平成23年12月15日(木)～19日(月)
開催場所：ガレリア原宿(神宮前3-14-17)

白堊芸術祭2011 〈出展リスト〉

充実の5日間、白堊芸術祭

「第４回白堊芸術祭」は、会場を神宮前に変更、会期も土日を挟んで5日間の開催となりました。12月17日には40年卒・野口田鶴子さんによる宮澤賢治＆五行歌の朗読の後、会員が得意な歌や芸などを披露するイベントを開催。イベント後はパーティータイムとなり、交流を深めました。

▲三船康道（S43卒）
〈祈り（田老町万里の長城より）〉

▲玉澤健児（S43卒）
〈田老・我が家跡〉

山中雅彦▶
（S49卒）
〈鏡台のある構図〉

▲三浦千波（S50卒）〈みちのく風景〉

▼及川昭伍（S25卒）
〈三陸鎮魂
（五輪塔と地蔵）〉

▲及川 謙（S61卒）
〈何処へ－Ofunato ground zero〉

▲板倉洋子（S28卒）〈静物〉

▲神尾 厚（S30卒）〈マーガレット〉

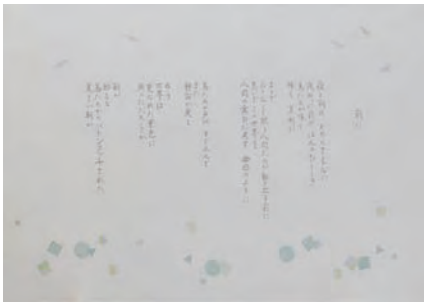
▲伊藤公雄（S34卒）
〈ビルの谷間の小さな公園〉

▶武田夏実（武田素虹）（S53卒）〈臨 寸松庵色紙〉

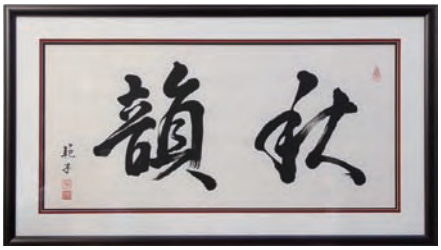
▶三浦千江美（S53卒）〈三辰垂光照臨四海〉

▶佐藤法雄（佐藤容齋）（S50卒）〈美意延年〉

▲坂上洋子（綾華）（S40卒）
〈ふるさと稗貫郡石鳥谷〉



▲辻田よね子（辻 やのか）（S55卒）〈朝 に〉



▲川野範子（S61卒）〈秋 韻〉

▲池上敦子（S50卒）
〈「一栄一落是春秋」菅原道真より〉

▲高橋正美（S31卒）
〈アンティックドール〉

▲田部井恭子（S34卒）
〈北欧絵織物・白熊王〉

▲松本 雄（S30卒）〈故郷（ふるさと）〉

▲**坂本 務**（S44卒）〈風の歌〉

▲**南舘英孝**（S36卒）
〈時空の戯れ（南ベルギーの木立で）〉

▲**渡部恵子（萌園 翠）**（S53卒）〈睡 蓮〉

▲**橋本時浩**（S53卒）〈誕 生〉

▲**渡部英俊**（S53卒）〈暁光に煙る〉

▲**八重樫誠司**（S53卒）
〈Dancing Sealion〉

▲**佐々木美枝子**（S43卒）〈幽富士〉

▲**大澤邦雄**（S43卒）
〈ペルシダーに還る〉

▲**村野井徹夫**（S35卒）
〈秋・彼岸花（3D写真）〉

▲**戸澤 聰**（S40卒）
〈震災、大船渡〉

白聖芸術祭に掲出された 白聖会員の五行歌作品

五行歌展示は、今回、書とのコラボレーションが実現。53年卒武田夏実（素虹）さんに全作品を書いていただきました。

（馬場 信・S41卒）

落日が美しい山々
シャケが上る清流
故郷の風景は
どんなときも
心のオアシスだ
（伊奈 裕・S38卒 稲垣裕雄）

緑の下に
どんな悲劇が
隠されているのか
上野の森に
蝉の諷経止まず
（山田武秋・S42卒）

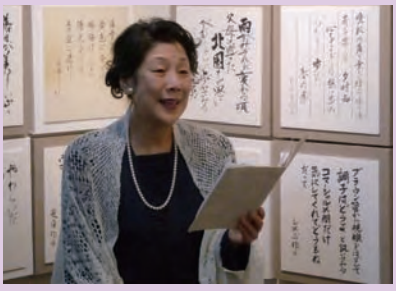
薄雪を
黄いろに染めゆく
蝋梅は いま
陽光をうけ
青空に透ける
（吉田美雅子・S45卒）

ポッと出てきた
昔の紳士とその妻
お手々つないで
夕暮れの舗道
楽しや銀座
（八十若・S22卒 小川達雄）

夢に啄木が登場して
五行歌を語った
とても厳しいが
壊せないもの（心）を
守るそうだ
（光平・S31卒 早坂光平）

晩秋の、落ち葉を踏んで歩く道
肩を濡らす夕時雨（ゆうしぐれ）
心をよぎるは想い出の
ふたりで歩いた
恋の途
（だいてんち・S36卒 星 邦彦）

雨がみぞれに変わる頃
父母の逝った
北国を思い
がむしゃらに歩いてみる
ここは東京
（ろろちち・S42卒 二宮まゆみ）



12月17日（土）に行われた
野口田鶴子さんの五行歌＆宮澤賢治朗読会

▲菊池雅子（S44卒）〈悠 久〉

▲伊藤馨一
（S52卒）
〈レクイエム〉

▲毛利洋子（S41卒）〈静物〉

▲一戸裕子（S43卒）〈柚 子〉

▲千葉祐治（S41卒）
〈木の実は大好物〉

▲小野寺長道（S28卒）〈雲間の妙高〉

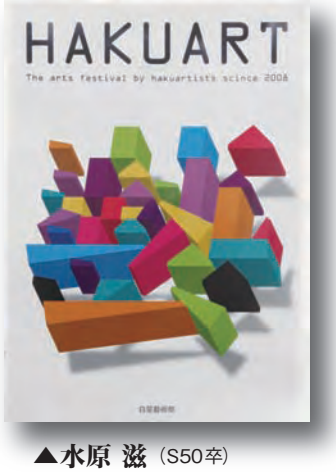
▲伊東明子（S50卒）〈10月のバラ〉

▲淺沼榮一（淺沼一道）
（S27卒）〈哦 松〉

▲鍛治順子（S61卒）〈天神山の紫陽花〉

▲福田 隆（S49卒）〈木津川〉

▲宮野谷 篤（S53卒）〈竹林仰天〉



▲水原 滋（S50卒）
〈HAKUART POSTER〉